

トップメッセージ

1925年(大正14年)に「万年スタンプ台」を発売して以来、今日に至るまでXスタンパー、ネームペン、朱肉、パソコン決裁など独自のアイデアを次々とカタチにし、「なつ印文化」に対する市場ニーズへ対応して参りました。これからも「記す、伝える、認める」というマーケティング・コミュニケーションを具現化するコア技術を強化するとともに、新しい発想とアイデアで生活を楽しくするモノづくりを進めて参ります。

2005年に発効した京都議定書は、2008年から2012年までの5年間で、温室化を招くガス排出量を1990年より6%削減することになっております。寒暖の差が大きい気候と、進む都市化・サービス社会の中でこれを達成することは並大抵なことではありません。さらに、2009年半ばには2013年以降の一層厳しい削減目標が打ち出され、社会・経済の発展と高福祉社会を維持しながら、これを達成するために更なる努力が求められております。弊社におきましても、欧州化学物質規制への対応として、RoHS指令に関しては購入物質に指定重金属が混入していないことを継続的に監視する体制を構築。2008年施行のREACH規制に対しては対象製品・物質を特定し、グローバルでのサプライヤーと連携し日々変化する有害物質に関する情報収集に努め、柔軟に対応しております。

他方、あらゆる企業活動において、品質を向上させる活動を「ギョツとクオリティ」と名付け、全社的に展開するとともに、社会貢献への一環として小中学校からの環境学習受け入れや周辺地域清掃活動・地域団体とのコミュニケーションなどを通じ、地域との共生を図っております。また、グローバル・スポーツ・アライアンス(GSA)の特別会員として、世界規模で環境に取り組む国連環境計画(UNEP)に対する支援も継続しております。

今後とも弊社は、社会やお客様に対して、常に新しい価値の創造、提供するこのできる企業市民へと進化し、「人と社会に豊かなコミュニケーション文化を創造する、グローバル先進企業を実現する」ことを目指して参ります。



代表取締役社長
最高執行責任者(COO)
舟橋 正剛
Masayoshi Funahashi, COO

2008年度 シヤチハタの環境への取り組み

シヤチハタの環境への取り組みの柱は、製品を作る過程で発生するプラスチック、油、紙、金属類などの廃棄物を削減し、リサイクル率を高めること、省エネルギー対策を推進しCO₂削減に貢献することです。総廃棄物の内、多くを占める塩水の処理に水を浄化する排水処理施設を活用してきましたが、2008年度の総リサイクル率は52%にとどまりました。2009年度には総リサイクル率90%の実現に向けて取り組んでいます。また省エネ対策として、コージェネレーションシステムの活用から、エアコンの温度管理、照明の節電を実施して、CO₂削減を推進しています。



废水処理施設

2008年度 環境活動のハイライト

| | |
|----------------------|--------|
| ●CO ₂ 排出量 | 6,924t |
| ●廃棄物総排出量 | 1,311t |
| 廃棄物最終処分量 | 629t |
| 廃棄物総リサイクル率(一般廃棄物を含む) | 52% |
| ●再生材利用率 原材料プラスチック | 40% |
| 洗浄用アルコール | 100% |

●シヤチハタのマテリアルバランス(INPUT・OUTPUT図) 2008年度

